

## 小さな日本・大きな日本 経営学部経営学科1年 劉穎菲

皆さん、こんにちは。今日スピーチのタイトルは「小さな日本・大きな日本」です。留学する前に、日本という国の名前を聞くと、いつも小さな国土プラス小柄の人々というイメージが浮かびました。

日本に留学してから、一年半しか経ちませんが、そのイメージがどんどん変わり、一見小さな日本には、実際大きな力が潜んでいるのではないかと考えるようになりました。

こうして、「小さな日本・大きな日本」というタイトルが生まれたのです。

### まずは「小さな日本」です。

ご存じ通り、日本の国土面積や自然資源、それに食べ物や部屋のサイズなどは、欧米先進国に比べ、小さいと言われていますが、ここでは、より抽象的な意味での小ささを少し話したいと思います。

それは日本人の繊細さです。

(ある日、私は髪型を変えました。何の特別な意味もありませんが、何人かの日本人の友達に「髪型変えたね」と聞かれました。聞いてみたら、他人の変化に気づくのが当然のこのようです。もし自分に変化があつて、他人が気づいてくれないと、無視された気がするかもしれないと友達が言いました。私はこうした体験から、日本人の繊細さをしみじみと感じたのです。)

### 次は「大きな日本」についてです。

ドラマ、アニメなどのポップカルチャーをはじめ、先進的な電機製品が世界中に広がっています。集団意識・協調性という点、電車を待つときの行列、地震後に見られた他人への思いやりなどから、日本人の心の広さを見いだすことができます。このように世界における日本の存在感や日本人の寛容性から「大きな日本」を感じ取ることができます。

ですが、本日、私が話したいことは、志のある日本人についてです。

(最初、日本人が大学のうちに、自分の夢のため、学校を休学し、インターンシップに参加したり留学したり、旅行したりすることがごく普通だと聞いたとき、少し驚きました。中国の大学ではそういうことがめったにはありませんから。今ビジネスサークルに所属していますので、将来自分が起業したかったりする学生が何人もいます。彼らの姿を見て、いつも心から感心しています。)

短い人生の中。何もしてないまま平凡に過ごすより、それぞれの夢を叶うために、何かしたくて、自分の人生の選択肢を他人に譲れない日本人を私が尊敬しています。)

(結論) 日本は一つの島国として、独特の魅力を持っています。小さく見えるかもしれませんが、その一方で、無限の可能性が潜んでいると思います。

小ささと大きさ、両方を持ち、しっかりバランスを取っている国、それが日本。  
こういう国こそ、人の心を掴むことができるのではないのでしょうか。

ご清聴ありがとうございました。